

校長室から皆様へ

2016年（平成28年）4月
福山市立山南小学校長 堂本啓介

～公を意識した児童の育成～

初めまして、安芸郡の熊野町より、赴任して参りました。山南地区の自然の豊かさに驚くとともに、この自然に育まれた子どもたちと過ごせることに喜びを感じています。



さて、福山市では、「福山に愛着 とほこりを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子ども」を目指して取り組みを進めています。この取り組みの具体的な姿として、社会の中でよりよく生きていくために、「自己肯定感を高める」「自己有用感を高める」ことを中心に、子どもたちを支えていきたいと思えます。いずれ大人になって社会に出た時に、人の役に立ちたいと思える子どもに育てたいと思っています。「人の役に立ちたい」という思いが、自分の活力になり、生活をより豊かにしてくれると考えています。そのために、小学生の間に身に着けたさせておきたいものがあります。

- ・相手を元気にさせる挨拶ができること
- ・奉仕活動に積極的に参加すること
- ・相手のがんばりが分かること
- ・相手のがんばりを具体的にほめること

その他、相手を、さらに広げて「公」を意識した子どもに育てるために、学校全体で取り組みを進めていきたいと思えます。

また、至誠中学校区では、「地域を愛し、誠実に生きるたくましい子ども」を目指して、次のように小中一貫教育に取り組んでいます。

① 小中を授業でつなぐ。

- ・小中一貫カリキュラム
- ・小中合同の教育研究・授業研究
- ・中学校教員の小学校への乗り入れ授業

② 小中を心でつなぐ

- ・小中合同での歌声
- ・中学生と小学生との交流活動
- ・ふるさと学習 山南の宝、それは「つながる人々」「美しい自然」「伝えていきたい文化」そして「発展し 続ける産業」等です。山南小学校のよき伝統と校風を受け継ぎ、故郷を愛し、ますます発展 させていくことのできる山南っ子を育てていきたいと考えております。今後とも、子どもの 健やかな成長のため、一層のお力添えをいただきますよう、お願い申し上げます。